

## ⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭63-49901

⑬ Int.Cl.  
B 27 B 5/20

識別記号

序内整理番号

A-7336-3C  
B-7336-3C

⑭ 公開 昭和63年(1988)4月5日

審査請求 未請求 (全3頁)

⑮ 考案の名称 傾斜付卓上切断機

⑯ 実 領 昭61-144301

⑰ 出 領 昭61(1986)-9月19日

⑱ 考案者 牛渡繁春 福島県原町市北長野字南原田70番地 株式会社日立工機原  
町内⑲ 考案者 佐藤正之 福島県原町市北長野字南原田70番地 株式会社日立工機原  
町内⑳ 出願人 株式会社 日立工機原  
町

## ㉑ 実用新案登録請求の範囲

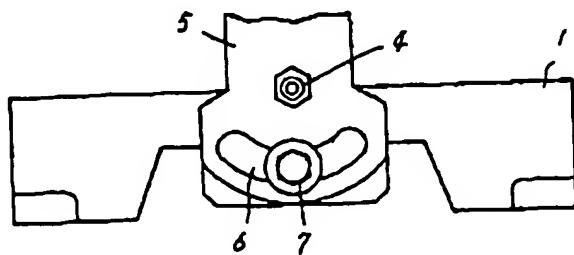
ベースに被切断材を支持するバイスを回着し、前記ベースの後方にベース上面に対し、左右に傾斜自在にヒンジを軸支し、ヒンジとベースを固定する手段を設け、前記ヒンジの上端に、前記ベースに対し傾斜自在にハンドルを有するアームを軸させ、前記アームに固着したギヤケースに、モートル軸とのこ刃が平行になるようモートルハウジングを接続させ、モートル軸とセカンドシャフトを直交させ、前記セカンドシャフトと平行にこ刃を有するスピンドルを配置させ、前記軸頸を回転可に支持すると共に、ペベルギヤ、ギヤ等の伝達手段により、モートルからの動力を伝達し、スピンドルを回動可にしたことを特徴とした傾斜付卓上切断機。

## 図面の簡単な説明

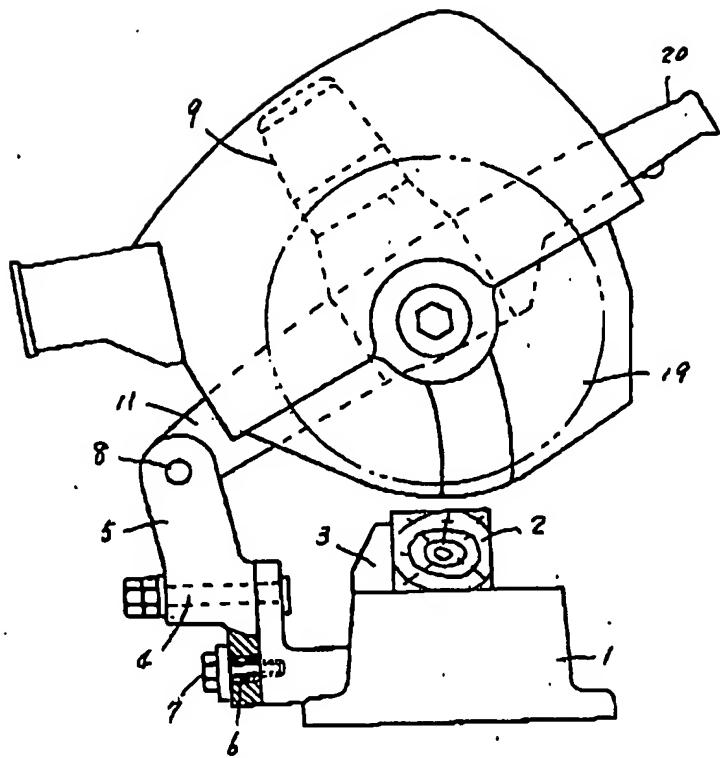
第1図は本考案になる傾斜付切断機の一実施例を示す卓上丸のこの側面図、第2図は第1図の背面図、第3図は動力伝達部の断面図、第4図はのこ刃を右側に傾斜した時の正面図、第5図は従来例を示す正面図である。

図において、1はベース、2は被切断材、3はバイス、4はヒンジシャフト、5はヒンジ、6は長穴、7はネジ、8はシャフト、9はモートルハウジング、10はギヤケース、11はアーム、12はモートル軸、13はペベルギヤ、14はセカンドシャフト、15はペベルギヤ、16はギヤ、17はスピンドル、18はギヤ、19はのこ刃、20はハンドルである。

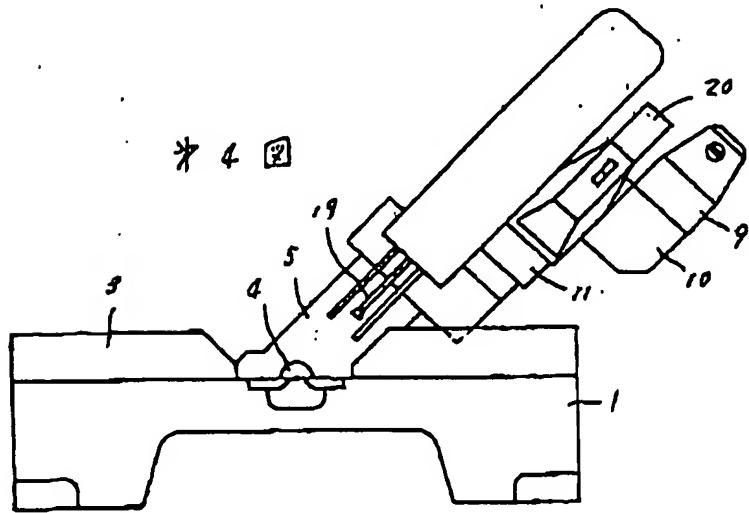
第2図



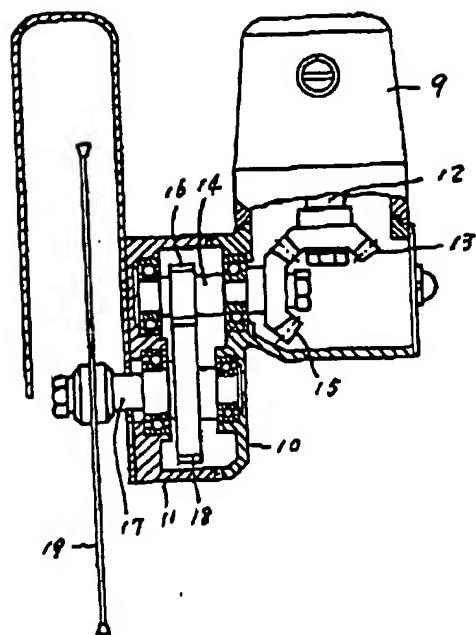
\*1図



\*4図



\*3図



\*5図

